

調査書の記入について

(1) 「志願者」の欄

氏名はふりがなをつける。性は○で囲む。現住所は、高知県内は郡・市名から、高知県外は都道府県名から書き始め、番地まで記入する。卒業見込・卒業のうち該当するものを○で囲み、その年月を記入する。

(2) 「各教科の学習の記録」の欄

〔評定〕

第1・第2学年の各教科の評定は、指導要録に記載されたもの（5段階評定）を転記する。第3学年の各教科の評定は、12月末までの成績を総合して、10段階で記入する。ただし、高知県外の中学校において、5段階で評価されている場合は、5段階で記入してよい。また、令和4年3月卒業の者については、指導要録に記載されている5段階の評定を転記する。

〔第3学年の観点別学習状況〕

全教科の観点は下の表を参照のこと。

評価については、12月末までの学習状況を総合してA、B、Cの3段階で表し、そのうちのAとCについてのみ記入する。ただし、令和4年3月卒業の者の評価については、指導要録に記載されているもののうち、AとCについてのみ転記する。

教科	観 点	
全教科	①	知識・技能
	②	思考・判断・表現
	③	主体的に学習に取り組む態度

〔第3学年の学習成績〕

評定平均値は、第3学年の9教科の10段階評定を平均したもので、小数第2位を四捨五入して小数第1位までの小数で記入すること。5段階で評価されている場合も同様に、5段階評定を平均したものとする。

順位は、第3学年の9教科の10段階評定の総合点によって、クラス単位に定めるものとする。（同点の場合は同番とし、次番を欠番とする）5段階で評価されている場合も同様に、5段階評定の総合点によって定めるものとする。

(3) 「特別活動の記録」の欄

各学校が定めた評価の観点を記入し、学習活動・生徒会活動・学校行事について、十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に「○」印を記入する。

(4) 「行動の記録」の欄

第3学年の状況は、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、その他学校生活全体にわたって認められる行動について、十分満足できる状況にあると判断される場合に「○」印を記入する。ただし、令和4年3月卒業の者については、指導要録の記載に基づいて記入する。

(5) 「出欠の記録」の欄

第1・第2学年については、指導要録に記載されたものを転記し、第3学年については、12月末までの集計を記入する。ただし、令和4年3月卒業の者については、指導要録に記載されているものを転記する。各学年で欠席、遅刻等がある場合は、その主な理由を記入する。

(6) 「総合的な学習の時間の記録」の欄

第1・第2学年については、指導要録の記載に基づいて記入し、第3学年については、12月末までの学習活動および各学校で定めた評価の観点を記入し、生徒にどのような力が身に付いたかを記述する。ただし、令和4年3月卒業の者の第3学年については、指導要録の記載に基づいて記入する。

(7) 「総合所見」の欄

各学年について、人物、行動、学業、学校内外における部活動の取組状況、各種大会やコンクール等における記録・成績、表彰を受けた行為、ボランティア活動等について総合的に記入する。

(8) 「身体状況」の欄

健康状態、既往症等について記入する。

(9) 「備考」の欄

5段階で評価されている場合は、その旨を記入する。また、特記事項のある場合、この欄に記入する。